

## 『長崎大学ダイバーシティ推進センター 研究紀要』執筆要領

- 1 原稿の長さの制限
  - 1.1 投稿論文は、以下の「2. 原稿書式」に合わせて20ページ以内とする。
- 2 原稿書式
  - 2.1 投稿原稿は、パソコンを使って作成する。フォーマットを使用すること。
  - 2.2 A4サイズ
  - 2.3 余白 上 25mm 下 25mm、左 30mm 右 30mm
  - 2.4 段組 2段組み
  - 2.5 文字数・行数等 1行にあたり 19 字、1段あたり 38 行
- 3 原稿の書き方
  - 3.1 和文タイトル
    - 3.1.1 和文タイトル 中央ぞろえ、MS ゴシック、12 ポイント
    - 3.1.2 欧文タイトル 中央揃え・Times New Roman・12 ポイント
  - 3.2 著者名・所属
    - 3.2.1 和文氏名 中央ぞろえ、MS ゴシック、11 ポイント
    - 3.2.2 著者名の脚註に、著者の所属部局・部署等の名称を入れる。
  - 3.3 見出し

第1階層	タイトル	
第2階層	・はじめに/序論/序説、おわりに/結語 ・はじめに. 対象と方法. 結果. 考察. 結語 ・1. 2. 3.	MS ゴシック 11 ポイント 左揃え 上下1行ずつあげる
第3階層	1.1. 1.2 1.3. … 2.1.	MS ゴシック 10.5 ポイント 左揃え
第4階層	(1) (2) (3)	MS ゴシック 10.5 ポイント 上位の見出しより1字下げる

- 3.4 本文
  - 3.4.1 和文はMS明朝 10.5 ポイント、欧文は Times New Roman 11 ポイント。
  - 3.4.2 文章は、原則としてひらがな漢字まじりの国語体とし、当用漢字と現代かなづかいを用いて書く。ただし、固有名詞や慣用語はこの限りではない。

- 3.4.3 句読点、かっこなど(、。、.、.;「」( ) ‘ ’ ~)は1画をうめる。
- 3.4.4 改行の冒頭は1画をあける。
- 3.4.5 数量の単位は原則として慣行の単位記号を用いる(例:km、°C、mg、μ)。その他の略号についても慣例に従う。
- 3.4.6 ギリシャ文字のような特殊文字及び特殊記号、数式や化学式における上つき(t<sup>2</sup>)、下つき(H<sub>2</sub>O)や、大文字、小文字(W,w)は、Web 上での標記を念頭に置き留意する。

### 3.5 図表・写真

- 3.5.1 図表は、パソコンで作成したものか、Web 上の素材をコピー・ペーストする場合には著作権等に留意し、必要であれば執筆者が各自で掲載許可を取得する。
- 3.5.2 図表の番号(図1、図2; Fig. 1、Fig. 2)及び説明文は、図の上部か下部に付記する。図の番号及び説明文は、9 ポイント。
- 3.5.3 写真は、著作権等に留意し、必要であれば執筆者が各自で掲載許可を取得する。また、執筆者が撮影した写真である場合には、撮影日、撮影場所、撮影者を明記する。
- 3.5.4 写真の番号(写真1、写真2)及び説明文を写真の上部か下部に付記する。写真の番号及び説明文は、9 ポイント。
- 3.5.5 図表(写真を含む)は、原則として1段以内に表記する。図表が幅1段に収まらない場合は、左右2段にまたがってもよい。

### 3.6 引用、注

- 3.6.1 各分野の書式に準ずる。一例としては、本文中に引用する場合は、著者名、発行年、該当頁を記す。例:(長崎, 2021, p.2)
- 3.6.2 各分野の書式に準ずる。注をつける場合には、後注とし、本文と参考文献の間に、番号を付して記す。

### 3.7 文献

各分野の書式に準ずる。以下は、例として示す。

- 3.7.1 文献は論文の最後に、アルファベット順で一覧として記す(MS明朝、9 ポイント)。
- 3.7.2 雑誌  
著者名(発行年). 論文タイトル. 雑誌名. 巻(号):該当頁。  
例:藤高和輝(2020).インターセクショナル・フェミニズムから／へ. 現代思想. 48(4), 34-47.  
Collins, Patricia Hill (2010). The New Politics of Community. *American Sociological Review*, 75: 7-30.

#### 3.7.3 書籍

著者名(発行年). 書名. 発行地:発行所.

例:上野千鶴子(2015). 新版 差異の政治学. 東京:岩波書店.

Butler, Judith (2004). *Undoing Gender*, New York: Routledge.

#### 3.7.4 ウェブサイト

著者名・機関名(投稿・掲載年月日). Web ページの題名. Web サイトの名称.  
URL(参照:年月日).

例:長崎大学ダイバーシティ推進センター(2021.6.1). 女性研究者 研究紹介. 長崎大学  
ダイバーシティ推進センターホームページ. <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/research-introduction-of-female-researchers/>(参照:2021.6. 29)

### 4 校正

- 4.1 校正は初校において万全を期し、再校、3校においては初校の訂正箇所の確認と、見落しの修正を行うだけに止め、新たな加筆や削除などは極力避ける。
- 4.2 校正は赤字の使用、また修正箇所の見え消し機能を使用し、修正した箇所が明らかとなるようにする。
- 4.3 著者校正は3校までとし、以降は編集委員会が全般的な調整を行う。
- 4.4 表題(タイトル)の改変や、本文及び図などの大幅な変更をしなければならなくなった場合には、編集委員または委員長に申し出る。